



第 22 号

発行日 昭和55年3月31日

発行 相模原市立

大野中公民館

(Tel 0427-46-6600)

—大野中地区全世帯配布—



保存会の人たちによる「土窯つき唄」の実演

土窯つき唄^{どがま}

「土窯つき唄」は昔から炭焼きの窯築のみに唄われた。素朴な作業歌でした。以前、この地は漕し^{せき}ない萱野と雑林^{ざうりん}であった。これを開墾し、麦、粟、稗^{ひえ}を作付けたが、野鳥、獣の被害で収穫は少なく、家人、食さえ窮した。現金収入は、諸大名の鷹狩りの勢子や炭焼きでした。毎年、麦蒔きが片付くと、土窯つきや炭焼きに移る。土窯つきは、まず、大地に楕円形の穴を堀り、型詰し、その上に三トン余りの粘土を覆せ、二十人位の村人が雑木杵^{ざうき}を手にし、一人が大きな声で唄えば、「ヨイショ」と大勢が力強く杵を打ちおろす。早朝より黄昏まで続けられ、鉄筋も使わず六百貫の槓^{かり}の灼熱下、二、三十年の風雪に耐える窯ができる。やがて、槓は窯詰めされ、点火され、一週間後に色鮮やかな炭となり、馬荷方により川崎方面に出荷、現金化された。樺^かの里、大沼はつねに窯の煙につつまれ、平和に日が明け暮れた。かつての繁栄の煙は失われ、感無量です。せめて「土窯つき唄」は永遠に保存したい。

(土窯つき唄保存会 小方文雄)

地域の子ども みんなの力で 児童館の実態を聞く

先回は大野中公民館が、地域に果たす役割を特集しました。

今回は、子どもの活動が組織的に行なわれている、子ども会、児童館にスポットを当て、その実態を調べてみました。

□ 子どもをとりまく状況

◎ 学校が終わった後の子ども
の生活は、塾通い、家で
テレビをみたりして、い
て、みんなで遊ぶというこ
とをしない。受験をひかえ
遊ぶために子どもを集め
組織化することはむずか
しい。

◎ 子どもたちが自由に、
思いきり遊べるような場
所が少なくなってきたい
る。

◎ レーシングカー、イン
ペーダーなど費用のかか
る、既製の遊び具がふえ
ている。

□ 子ども会のもつ悩み

◎ これは即、育成者の問
題となっている。育成者
の受け手が少ないこと。
また、育成者が会行事を
みんな用意してしまっ
て、主体が子どもではなく、
育成者のようなところも



ある。

◎ 中学生以上に
なると、勉強に
忙しくなり、会
から離れ、リ
ダーとしても、
残ってくれる人
が少ない。



ある子ども会では・・・

子ども会をつくるむずかしさ、
役員が毎年かわること、それにも
負けず子どもたちが中心になっ
て活動している子ども会があります。
この子ども会のスタートは、地
区PTA活動が中心となっていて、
たもので、部活動や廃品回収をし
ています。

部活動の場合は、少女ソフト、

少年野球などと、やりたい子が全
員加入でき、上手、下手は問われ
ず、上級生が下級生を指導し、遊
びの中でも、地域の仲間づくりを
しています。
また、廃品回収は、お金を集め
るのが目的ではなく、自分たちの
地域社会は子どもたちの手できれ
いにしようと、社会奉仕する精神
を育てている。子どもたち自身の
自主的な活動であり、そこに仲間
づくりの心が生まれ、大きい子は
小さい子のめんどうをみる。その
中で、自分のおかれていている立場を
学び取る機会にもなっている。大
人たちは、側面から協力し、子ど
もたちの輪を広げています。この
子ども会は、子どもが主体性をと
り、大人がお手伝いをしている、
子ども会本来の姿といえます。

大野中地区の子ども集団 組織化のパターン

1. 自治会内の青少年部等
が中心となって自治会内
の子どもたちを対象に組
織化する場合。
2. 小学校PTAが地区割
りで構成する場合で、複
数の自治会からなること
もある。
3. 必ずしも対象を、小学
校区や自治会内には、こ
だわらず、任意加入をと
っている場合。
4. 少年野球、サッカー等
一つのスポーツを通じて
有志が組織化された場合
などがある。



みつめよう 育てよう — 子ども会 —

児童館の状況は？

(一) 職員

市内の児童館は、館長の他に、自治会長、PTA役員、民生委員等、地域の団体から10名程度選出、運営委員会が構成され、市から委嘱されています。そして、事業に具体的にかかわっている児童館指導員といわれる人がおり、非常勤で勤務しています。その他に管理人がいます。

(二) 運営費

市費と地元からの補助で行なわれています。市費は館によって多少ありますが、年間10万円程度です。これは、燃料費等、維持管理に使われ、事業費は、地元の補助に頼っているのが実状です。館によっては、使用料を徴収しており、子ども以外の団体が使う場合、一回500円とか300円とか集めています。少ない年間予算の中ではやむを得ない処置といえます。

児童館

児童福祉法に規定されている、児童厚生施設の一つである。現在、市内には37の児童館（いずれも市立）がある。主な館機能としては、健全な遊びを行いながら、児童の集団的指導を行なっていくところである。また、子ども会、母の地域組織、活動の拠点として、その育成助長をはかることなどがある。最近では、留守家庭児童の保育も児童館によって行なわれているが、受入れ態勢のこともあり、課題の一つになっている。

(三) 児童館のもつ悩み

児童館によっては、7自治会のもとに、運営され、あまりに範囲が広いと、事業をやっても、子どもの取り合いのようになっていきます。このような児童館では、自治会ごとに競い合う事業を考えた、大勢の子どもが一堂に会するようになり、人形劇などを計画したりして、努力はしています。また、小さい子どもは、たくさん来てくれるが、高学年は集まって来ないことです。ある館では、卓球大会を行なったとして、高学年の参加を得ようとしています。



今回は、時間的余裕がなかったため、統計資料は求めず、私たち編集委員が、それぞれの関係者に

状況を聞く方法をとった。子ども会については、子ども自身の実態が出てこなかったのが残念である。また、この地区は、地区子連に加盟しない子ども会が以外とある。このことは是非も話し合った。加入することのメリットは確かにあるが、子どもも集団が一本の組織にまとまるより、現在のこの地区の活動に力強さを感じたのも確かであった。この力強さは、実状を知らないから感じたことであろうか。

大野中地区の児童館活動

- ◎ 大野台第一児童館 (55-0099)
映画会、父の日行事
芋掘り大会、ひな人形づくり
写生大会 など
- ◎ 大野台第二児童館 (54-8945)
母の日、父の日行事、クリスマス
みこしづくり、キャンプ
芋掘り大会、書きぞめ など
- ◎ 古淵児童館 (55-9153)
紙粘土でつくろう
新入生歓迎会
キャンプ
お楽しみ運動会
タコづくり、タコあげ大会
お別れ会 など
- ◎ 新淵児童館 (47-5355)
紙芝居、母の日プレゼントづくり
折り紙、紙ひこうき
節分のまめまき、卓球
なわとび など
- ◎ 大沼児童館 (43-2514)
人形劇（北里大学人形劇部）
キャンプ
盆踊り、ハイキング
もちつき大会、タコづくり など

公民館案内図



公民館活動

一年間のあゆみ

公民館は、地域の皆さんのための教育文化施設として、皆さんのご協力ご参加のもとにスポーツやレクリエーション、学習など様々な活動を行なってきました。

下の表は、昭和54年度一年間の活動のあゆみです。また、4月からは新たな飛躍をめざして数々の事業が展開されます。

皆さんのご協力とご参加を心から期待しています。

7 月		6 月		5 月		4 月	
○たなばたまつり ○少年集団育成者研修会 ○高令者ゲートボール教室 ○第十三回少年野球大会		○第五回自治会対抗男子ソフトボール大会		○子どもまつり ○割りばしテッポウ作り ○「お手玉作り」 ○「どじょうつかみ」 ○「オセロ大会」ほか ○ゲートボール指導者講習会 ○広報の作り方教室		○春の婦人学級 ○初級婦人体操教室(一)	
11 月		10 月		9 月		8 月	
○子ども映画劇場 ○子ども人形劇場 ○第十二回芸術大会 ○第二回自治会対抗婦人バレーボール大会 ○第三回自治会対抗男子バレーボール大会 ○第三回大野中ふるさとまつり		○初心者のためのフォークダンス講習会		○初級民踊講習会 ○お母さんのためのギター教室 ○和裁教室 ○文学教室 ○第二十六回地区体育祭 ○青年ダンス教室 ○初級婦人体操教室(二) ○高令者教室 ○婦人学級		○ギター教室(中・高校生) ○ペーパークラフト教室 ○納涼盆踊大会 ○第六回少女ソフトボール大会 ○第二回婦人ソフトボール大会 ○レクリエーション大会(地引網、江の島)	
3 月		2 月		1 月		12 月	
○高令者ゲートボール大会 ○史跡めぐり親子追跡タイムハイ ○文化講演会 ○第三回自治会対抗卓球大会		○野球ソフト審判講習会 ○第十一回小中学生剣道大会 ○スケート教室		○初級婦人体操教室(三)		○第五回文化祭 ○「文化展」 ○「着物着付教室」 ○「俳句会」 ○「お茶会」 ○「囲碁大会」 ○「ポップコーンプレゼント」 ○鎌倉文学散歩 ○年賀状作成展示会 ○第四回少年柔道大会 ○お飾り作り講習会	

昭和五十四年度大野中公民館事業報告





公民館は、地域の人たちが自主的に教育活動をする場です。公民館が用意するものに参加するだけでなく、公民館という公の施設やそこにいる職員を利用しながら、自らが必要としているものを計画し、志を同じくする仲間をつくって

ていくことも必要です。何かをやってみたくて個人で悩んでいる人、公民館にきてみてください。仲間がいます。既にグループをつくって活動をしている人、公民館と一緒に活動して教室や講座を組んでみませんか。

公民館では55年度は次のように講座、教室を予定しています。内容や時期はみなさんと相談するとして、そのための準備委員を各コースごとに募集します。希望者は早めに公民館までご連絡ください。

地域史跡を

(2) 大沼神社



大沼神社は、昭和四十五年秋に社殿が改築された。昔の面影は、社殿前の杉の大木の枯残った姿に、わずかにしのばれるだけ。祭神はイツキヒメノミコトで、相模国大沼大弁財天ともいう。南朝の忠臣、小山田小太郎は敬神の念厚く、特に大沼弁財天を守護神として出陣の都度、駒を当地に進め、戦勝と武運長久を祈願したと伝えられる。

その昔、一月の二十三日のおいまの行事の最中に、蛇が出てきて弁天様のお遣いと、よろこんだ話など、奇蹟に類した話の数々が残っている。時折、神前に卵が供えられたりしているのも信仰のあらわれであろうか。

日頃閑静なたたずまいの神社も十月の祭礼には、豪華絢爛たるみこしとともに、近隣自治会の子供みこしも繰り出す。また、鳥居から社殿に続く参道沿いに露店も立ち、大層な賑わいをみせる。年々参加する子供みこしの数も増え、大沼地区の氏神様として、地元の人々の中に浸透している。

☆ 文学教室

54年は「方丈記」を取り上げ、現代の世相にもふれながら行なわれました。55年は古典文学？あるいは近代文学？

☆ 趣味の教室

54年は、民謡、フォークダンス、和裁・ギター・着物着付、等々、今年は？

☆ 人形劇創作教室

人形の製作を手始めに、シナリオ創作、そして上演と、一環して行いたいと考えています。児童文化活動をしている人、あるいは、興味を持っている人を求めます。

☆ 教育問題講座

子どもの教育や教育環境のことなど。グループ学習している人へとくに呼びかけます。

☆ 地域問題講座

今、地域で起っている下水道整備、交通問題、あるいは、公民館新設問題など生活と密接にかかわるものを取り上げながら、その解決へ少しでも近づきたい。

☆ 青年教室

公民館を

若者のたまり場に

公民館では去年、青年たちのダンス教室が開催され、今も社交ダンスサークルとして、盛んな活動を続けています。

今年も青年教室を開催しますが、文学や歴史の学習、レクリエーション、人生論等、何でもかまいません。

仲間を集めて何かをやり遂げませんか？ でき上りのメニューよりも、初めから参加して、自分たちの企画で仲間を集めて、おもしろい青春を燃焼させてみませんか。

新しい友人や理想の恋人にめぐり合うかも……？

昨年の担当職員から「去年の四月に公民館へ移ってから、何もわからないままに、青年教室を担当させていただきました。若者たちと幾度となく、夜おそくまで熱く語り合ったとは大変勉強になりました。今年も、みなさんとの出会いを待っています。友だちや仕事のことなど、何でも気軽に相談してください。」

☆☆受講生募集☆☆☆

鎌倉文学散歩

日時 5月16日

(金)雨

天決行。

集合 午前9時

までに相模大

野駅、駿河銀

行前に集合。

定員 40名(先着順)

参加費 無料。ただし、交通費・

コース 拝観料は自己負担です。

宝戒寺、高時腹切やぐら

文覚上人邸跡、妙本寺等。

持参物 弁当、雨具、軽い歩きや

すい服装。

申込み 直接、または電話で公民

館まで。

初級婦人体操教室 (I)

日時 5月7日・7月16日まで、

毎水曜 全11回、

いずれも午前10時・11時半

会場 公民館体育室。

指導 日本体育協会スポーツ指導

員 石田 広江氏

参加費 千円(傷害保険含む)

申込み 参加費を添えて4月29日

までに公民館へ。



子どもまつり

日時 5月3日(土)

会場 公民館

楽しい催し物が計画されます。

くわしくは、子ども会長、児童館

長を通して、後日連絡します。

☆サークル会員募集☆☆☆

少年柔道教室

対象 大野中地区に住む小学生、

募集人員 20名

練習日 毎水曜、午後5時・6時

まで。

指導 原口博州氏

会費 月額1,300円

傷害保険料 年額520円

申込み 齊藤

剣道大会

大野小、大沼小、どちらの会場

でもかまいません。

対象 小学一年以上。

練習日 大野小：毎週、火曜と金

曜、午後7時・8時30分まで、

大沼小：毎週、火曜と土曜。

午後6時・7時30分。

指導 大野小：細谷武夫氏(五段)

大沼小：大場広治氏(五段)

申込み 詳細については、練習日

に会場で、指導者に聞くこと。

= 広報のつくり方教室 =

日程 4月25日～6月20日まで 全10回

いずれも午前9時30分～11時30分

会場 公民館 大会議室他

講師 大野明男氏ほか

参加費 テキスト代600円、その他に取材

活動に必要な費用は、各自負担です。

定員 40名(先着順)

申込み テキスト代をそえて、4月20日まで

に公民館へ。

回	月・日(曜日)	課程	内 容
1	4. 25 (金)	編集企画から校正まで	開講式 オリエンテーション 広報活動のあり方
2	4. 26 (土)		編集会議 仮割付 取材、原稿の書き方
3	5. 2 (金)		本割付 出稿 校正
4	5. 9 (金)	公民館報(だより)づくりを通して	編集会議 仮割付
5	5. 16 (金)		取材活動
6	5. 23 (金)		記事整理
7	5. 30 (金)		本割付 出稿
8	6. 6 (金)		校正
9	6. 13 (金)		印刷工場見学
10	6. 20 (金)		閉講式 まとめと反省

あとがき

婦人記者?としてスタートして
2回目の館報です。足で調べ、良
く話し合いすることの大切さ、一
人ではできないことも三人寄れば
文珠の知恵とがんばりました。
おたがいにいそがしい身だけれど、
求める方向は同じで楽しい編集で
す。シリーズものの「中地区史跡
さんぽ」は大沼神社です。お話し
を聞きにいったのは、寒い雨の日
でした。ご説明を下さった方の熱
意に寒さもふきとび、近いながら
相模原のことの知らなさに淋しく
なったり、かなしくなったり、い
い勉強をさせていただきました。
今度の特集である地域に帰って
からの子どもたちのはどうしてい
るんだろうか?児童館の運営問題、
PTAからみた地域の子どものたち、
子どもをとりまく地域教育を少し
でもわかって努力したこと、子
どもたちにとってはどんな小さい
ことであろうと、大人の勝手な考
え方でのびていこうとする心をふ
みにじることのないように、私た
ち自身から努力しなければと……
考えさせられました。